

第18回 岐阜県新型コロナウイルス感染症 教育推進協議会 議事要旨

日 時	令和5年2月16日(木) 17:00~18:00
場 所	県庁6階 特別会議室
出席者	<p><委員> 14名 松川 禮子 委員、益子 典文 委員、堀 貴雄 委員、水川 和彦 委員、 名取 康夫 委員、石田 達也 委員、廣瀬 良 委員、 林 則安 委員(岩見 浩二氏代理出席)、下屋 浩実 委員、加納 顯 委員、 西垣 安久 委員、尾関 健治委員(途中退席 森 正昭氏代理出席)、 木野 隆之 委員(長屋 英人氏代理出席)、村上 啓雄 委員 (尾関委員、長屋代理はWeb会議システムで参加)</p> <p><県> 知事、河合副知事、大森副知事、教育長(委員) 環境生活部長、子ども・女性局長、私学振興・青少年課長 副教育長、教育次長、義務教育総括監、教育総務課長 他</p>

会議の概要

- 1 開会
- 2 資料説明
副教育長
- 3 意見交換
- 4 知事あいさつ
- 5 閉会

議事要旨

- ・高校の卒業式はおおむね3月1日であるが、その後、3月は大学入試の中期・後期試験が控えていること、高校受験を控える弟妹を持つ卒業生が一定数いることから、マスクの着脱については、卒業生は慎重な判断をするのではないかと。
- ・マスクの着脱の判断は家庭や個人の判断にゆだねて、学校としてはマスクの着脱により差別が生じることなく、各々の判断を尊重するという環境を整えたい。
- ・特別支援学校については、障がいの種別によって、式の途中でマスク着脱が難しい状況もあるため、各校での柔軟な対応を許していただけるとありがたい。
- ・文科省の通知には、児童生徒等はマスクを着用せず出席することは基本とあるが、あくまでも個人、家族の判断に応じてという文言を付け加えてほしい。
- ・卒業式だけ特別に、というのは混乱を招く可能性があることを理解いただきたい。
- ・卒業式に限る感染対策は整理が難しい。感染者が減っている一方で、複数クラスターも起こっており、油断できない。

- ・マスクは、口からウイルスを出さない効果があり、ウイルスを出す行為をする人はマスクが必要かと思われる。
- ・元々の2 m以内で対面する時にはマスクをつけるのがルールであり、卒業式においてもやはり2 m以内の至近距離で対面する場合はマスクをつけることを基本とするとした方が分かりやすい。
- ・各ご家庭の事情があるので、家庭の判断でマスクを子どもにつけさせたいという保護者もいると思う。そういった子どもへのケアなど配慮しなければいけないと思っている。
- ・マスクを外すのに一番抵抗があるのは子どもだと思う。今までずっとマスクをつけることが命を守ることだとやってきたので、そういった中で、文科省の作成した衛生管理マニュアルが3月31日まで適用されている中で考えると、とても厳しい。
- ・マスクについての基準は、近くで会話をして飛沫が出る場合にはマスクをすること。今子ども達もその基準を守っているし、卒業式においてもそうあるべきである。
- ・特に町村の学校は、規模も違う。場面でマスクの着脱を判断するのではなく、距離がとれるかで判断する方が、合理性がある。
- ・これまで意味を理解してマスクの着用を守ってきた子の中には、教職員はマスクを外して、保護者や来賓はマスクをすることに、疑問を抱く子もいると思う。そこも、合理的な基準でそろえた方がよい。
- ・体育館の規模も学校によって異なるため、各学校での判断となる。2 m間隔で式典ができる場合には、マスクを外す判断をされるかもしれないが、半分以上の学校はそこまでの規模はないため、基本的には公立学校と同じ対応になる。
- ・幼稚園は一律マスク着用を求めないとされている。基本的には、文科省の示した案で行ければと考える。
- ・気持ち的には外してやりたいと思うが、会場も小さくなく、至近距離になる。参加者の人数制限はどの園もかけると思う。参加する保護者、職員はマスクの着用を求めることになると思う。
- ・卒業式の形態によってマスクをどうするか変わってくる。基本的には2 mの距離が取れて、話をしない場面には、マスクを外してよいなど、最終的には学校毎に判断が必要かと思う。
- ・自然の形で、これまで守ってきた感染対策が継続できて、マスクの着用について、合理的な説明ができればよいのではないか。
- ・受験シーズンであること、卒業式だけのルールであること、様々なことを考慮すると、教職員、来賓、保護者は原則マスク、卒業生は大きな声を出さないかぎり、マスクなしでよいのではないか。
- ・重要なことは、マスクを着用している人と着用していない人の間で差別や偏見がないように、先生方のご指導をお願いしたい。
- ・子どもの数、参加者人数で事情はかなり異なる。学校毎に臨機応変に考えるが、この場面はマスクをすべきということをはっきりと示したうえで、その範囲の内

で、各学校、各市町村で考えていただければと思う。

- 文科省の通知を基本とするものの、岐阜県としては、こういう場合はマスクをするなど、丁寧を示して、あとは各学校の状況に応じて考えていただければと思う。
- 一律に同じにする必要はないと考える。危惧の場面は想定されるため、そういうところはマスクをしていただく。
- (文科省の通知は) みんな黙っていることを想定して、マスクを取ることを基本としている。岐阜県の場合は、しゃべる場面があるのであれば、それに合わせて対応するのは当たり前ではないか。
- 混乱がないように相談窓口を用意して、個別に対応してほしい。